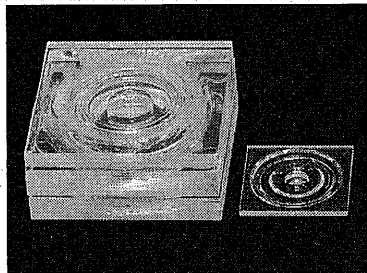


携帯向け超薄型レンズ

半導体や電子部品の製造装置メーカーのA J I (横浜市、吉田邦夫社長) は、携帯電話端末カメラ用の超薄型レンズを開発した。チップ1枚の厚みは0.25ミリでカメラ部品の厚みを従来より6割減らせる。一体成型樹脂のため大量生産が可能で端末の製造コストを引き下げられる。製造する部品メーカーからライセンス収入を得るほか、専用製造装置や材料も販売し、収益源を多様化する。

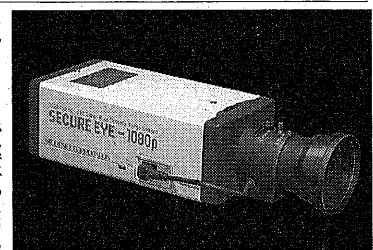


開発した携帯電話端末向けレンズチップは、VGAクラス(640×480画素)の低解像度、200万画素の高解像度の2種類のチップを開発した。低解像度型は厚み0.25ミリ、大きさは2.5ミリ角。レンズを撮像素子と一緒にカメラ部に組んだ際

安価に大量生産 製造装置や材料も販売

の厚みが1ミリ以下で、ガラス基板と樹脂材料を使う従来方式の2.5ミリから大幅に薄くした。高解像度型は3枚のレンズチップを重ね合わせ、厚み2.2ミリ、大きさは3.6ミリ角にした。ガラス基板を挟まない分、薄型化、自由な光学設計が可能になった。円状のウエハー型基板を使って製造できる。平面的なレンズ型2枚の間に耐熱性がある特殊樹脂を入れて熱でレンズを硬化させ、一度に大量生産が可能。現在、レンズ市場は約9割が射出成形方式で製造されている。耐

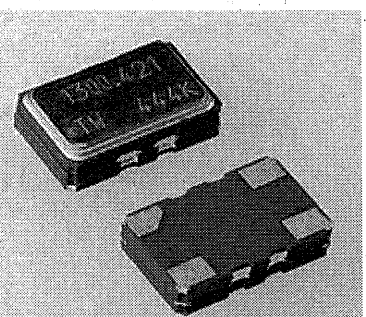
明暗差大でも鮮明 HDカメラ、階調を調整



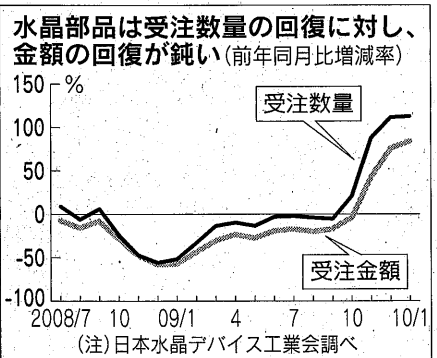
監視システム製造販売のストアネット(横浜市、鈴木護真社長) は、明暗差が大きい風景や被写体でも、映像全体を鮮明に撮影できるハイビジョンカメラ「写真」を開発した。光量が足りず暗く写った部分の映像信号を増幅し階調を調整すること、黒くつぶれていた細部が見えやすくなるという。光量が多く白飛びする部分も同様の処理で映像を調整。監視カメラとしての用途や定点観測用などを想定している。撮像素子が取り込んだ映像信号を画素ごとにアルタイムで解析。明るすぎると暗くする画素の階調を調整して、暗差を実際の信号より縮める。階調を調整しやすいよう、映像の明るい部分に合わせたレンズの絞りを適切に調整する機能も備えた。

同カメラ向けに、透過率を70%以上に高めた偏光フィルターも開発した。従来製品の透過率が40%前後で、撮像素子に写る映像の光量を多くできる。監視カメラに向く。フィルターとカメラ本体を合わせ、初年度に15億円の売り上げを見込む。

水晶部品



東京電波はスマートメーター向けに開発した水晶発振器の量産化を急ぐ



水晶部品は受注数量の回復に対し、金額の回復が鈍い(前年同月比増減率)

スマートメーターに活路

野事務の指示を受け本社上げるため、4月から盛岡(東京・大田)では非公式の生産拠点に本社の開発人も複数搭載される。スマートメーターの世界需要は5年後に現状の5倍の規模になるとも言われ、水晶関連などとも見ればまさに宝の山だ。富士通コンポーネントは

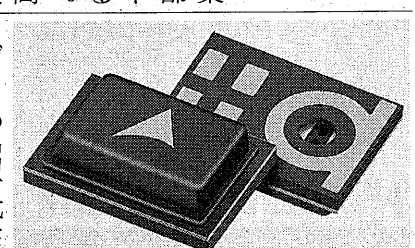
成長分野で収益改善 携帯向け価格下落

09年4月に関連会社の富士通デバイス本部の瀬川俊貴 通メデバイスから無 営業企画室長は営業陣に指 線事業の譲渡を受けた。実 示を飛ばす。これまでやり は同社の主力事業はテレビ ところが顧客がスマート などデジタル家電向けリレ メーターを手掛ける場合、 一部品。事業譲渡の当初の いち早く日本電波工業の製 狙いは、リレ部品のほか 品を試作に使ってもらえる に手掛けるタッチパネルな よう営業の網を張る。 各社が相次いでスマート ーターに向けた仕掛けを 打つのは大きく2つの理 由がある。1つは携帯電話 の急激な価格下落だ。 例えは日本水晶デバイス 工業会(東京・新宿)がま と無線関連事業を取り仕切 とめた10年1月の水晶部品 受注実績を見ると、数量は 前年同期比112.7%増 も激しい。成長市場へ他社 の8億1500万個と2倍 を超える伸びを示したのに 対し、金額は同83.9%増 を左右しそうだ。(京塚環)

実装面積6割小さく 超マイク部品 TDK-EPC 配線に工夫

TDKグループのTD K-EPC(東京・中央) は4日、超小型のマイク 部品を開発したと発表し た。競合製品に比べて、 実装面積を6割削減。携 帯電話やデジタルカメラ など、持ち運び型小型機 器に向く。TDKが傘下 に収めた独エプロスのミ ュンヘンにある工場に量 産体制を整えており、2 010年内に月産100 0万個を目指す。 「T4030」は写真 周波数帯のパッケージ技 術を応用した。

データ出力方式をア ナログではなくデジタル にしたり、振動部を工夫 したりすることで、感度 やノイズ耐性などの性能 を高めている。持ち運び 型の小型機器のほか、ノ ートパソコン、電話会議 システムなどへの搭載も 想定する。 外形寸法は表面が3. 25ミリ×2.25ミリ、厚 さ1.1ミリ。サンプル 価格は1個当たり500 円。



暖かマッサージチェア



パナソニックは業界で初 めてマッサージ部分にセラ ミックヒーターを内蔵した。 マッサージチェア「温感」 リアルプロ EPM-A 70「写真」を4月21日に 発売する。価格はオープン だが店頭想定は40万円前 後。中高年層をターゲット に月産2000台を計画す る。 体を温めることによる疲 労回復効果に着目。ヒータ ーで40度前後に温めた「も

み玉」が首や肩、腰や背中 などをマッサージする。疲 労のたまりやすい骨盤のケ アも重視。2つのエアパッ グが交互に膨らんだり揺ら したりすることで骨盤まわ りの筋肉をほぐす。肩甲骨 周辺のストレッチ機能も強 化した。 足マッサージに使う凸凹 部分を内側に収納すれば、 テレビ鑑賞や読書などに最 適なリラクゼーションチェア に早変わりする。

オセへのTOB成立 総額380億円、連結子会社に

キャノン(4日、欧州 約380億円。既に保有 最大のプリンターメカ ーのオセ(オランダ)に を加えると出資比率は71.3%となる。オセを連 結子会社化し、成長分野 と位置付ける高速・大型 プリンター事業を拡大す る。 買付け総額は85%未済の

キャノンはオセに対す るTOBを1日に終了 し、発行済み株式総数の 71.3%が集まった。た だ、買付け予定数の下 限だった発行済み株式総 数の85%は下回った。買 付け総額が85%未済の

熱性がなく一度に生産で だとい回に約30個にと できるチップ個数が限られ 幅に引き下げられる。 10年夏から海外の携帯 電話端末メーカーの中国 やインドなど新興市場向 け製品に搭載される見通 し。安定品質のレンズを レンズメーカーから特 許使用料を得るほか、専 用の製造装置を販売。材 料メーカーと組んで樹脂 も独占販売する。これに より、2013年度に同 社の売上高を10年度見通 し比5倍の50億円に引き 上げることを目指す。 場合、TOBを不成立に する権利があったが、キ ャノンはオセのグループ 入りを優先し、TOB成 績へ 中々 表す